

## 第18回 滋慶学園 チャレンジカップ柔道錬成大会 大会要項

- 1 主催 学校法人 滋慶学園
- 2 共催 千葉県柔道連盟
- 3 主管 東京メディカル・スポーツ専門学校 (TMS)
- 4 後援 千葉地区柔道会
- 5 目的 大会出場(試合経験)の機会を創出し高校柔道の底上げと同時に技術の向上及び発展に寄与し、さらに高等学校教育の健全な発展と高校スポーツの振興を図る。
- 6 日程 **2022年8月17日(水) 前日準備・合同練習会**  
**2022年8月18日(木) 大会当日**
- 7 会場 千葉県総合スポーツセンター 武道館(千葉市稲毛区天台323 TEL 043-251-1281)
- 8 参加資格 [1] 高等学校体育連盟加盟校の生徒で、在学する学校長の承認を必要とする。  
[2] 在籍学年が1・2年生であること。  
[3] 部員不足等に伴う複数校合同チームの参加を認める。  
※参加制限 <外国人留学生の取り扱いは以下のとおりとする>  
[1] 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。  
[2] 短期留学生は除く。
- 9 競技内容 [1] 参加者は高等学校体育連盟の生徒であり、団体戦で行う。  
[2] 各学校男女各1チームまでとする。  
及び方法 [3] 男子団体は5人制で行い、登録人数は最多で9名とする。  
[4] 女子団体は3人制で行い、登録人数は最多で7名とする。  
[5] ①試合方法は、リーグ及びトーナメント方式とする。  
②団体リーグ戦は希望によりレベル分けを行う。レベル分けはA・Bに区分する。  
(※試合方法及びレベル分けは参加校数・参加者数によって変更する場合があります、希望に添えない場合があります。なお、申込多数の場合は、両日参加の学校を優先させていただきます。)  
[6] 試合規定  
①試合は、国際柔道連盟試合審判規定によって行う。  
②試合時間は全て、3分間とする。  
③「優勢勝ち」の判定基準  
※団体戦は、「技あり」または「指導2」以上とする。チームの内容が同等の場合は代表選手を任意に選出して代表戦を行なう。代表戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。  
④団体戦のオーダーは登録メンバーから試合ごとに自由に入れ替えができる。
- 10 表彰 団体戦は第1位、第2位、第3位までとする。

- 11 申し込み 別途申込書により郵送で申し込む。様式は、千葉県柔道連盟ホームページよりダウンロードして使用すること。合わせて、プログラム印刷用として下記アドレスまでメールで申込書を送信すること。

①申込み締切り 2022年7月15日(金) メールまたはFAX✕切

②申込先及び問合せ先

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西3-1-16

東京メディカル・スポーツ専門学校 事務局 菅原 大輔

mail cha@tokyo-medical.ac.jp

Tel 03-5605-2930 Fax 03-5605-2932 (菅原携帯 080-1116-5558)

※ 大会参加に際し、参加費(保険料)として1名につき150円を大会当日、受付にて徴収する。

※ 大会に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。

- 12 参加上の注意
- [1] 組み合わせ抽選は主催者側で行う。
  - [2] 選手は原則として背中にゼッケンを付けて出場すること。
  - [3] 参加校は、両日とも昼食・飲み物と準備すること。特に、飲み物に関しては、熱中症に留意し予防に努めること。
  - [4] 大会進行補助は参加校の部員・生徒で運営する。
  - [5] 紅白の帯は、各校で準備すること。
  - [6] コロナウイルス感染症対策について別紙(新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン)参照。
- ※高体連の健康チェックシートを提出してください。

13 日時 ■8月17日(水) 開場8:15、車止め開錠7:15

9:00~10:00 会場準備

10:00~12:00 練習会 ○11時30分から滋慶学園学生による「クールダウン体操」、

13:00~15:00 練習試合 ○13時から滋慶学園学生による「トレーナー講習会」実施

■8月18日(木) 開場8:00、車止め開錠7:00

8:10 受付開始(参加費支払い等)

9:15~ 9:45 審判・監督会議

10:00~ 開会式

10:30~ 試合開始

15:30~ 会場片付け

16:00~ 閉会式(表彰式)

16:30~ 会場撤収・終了・解散

17:00 全終了

(※タイムスケジュールは参加校数・参加者数によって変更する場合があります。)

- 14 その他 試合進行状況を見て試合会場を開放し、練習、及び、練習試合用として使用できるようにする。

以上